

食と農と暮らしと。あなたをリードするアクティブ・マガジン

# かながわ西湘

2025

9

vol.228



## おいしいナシを届けたい

三廻部 正一さん  
成田/小田原市千代

ナシ30a、水稲30aを栽培

小田原市千代地区30aの畑で幸水や豊水、香麗、明水など8品種のナシを栽培している三廻部正一さんと和江さん夫婦。収穫したナシは、『朝ドレファスミ』に出荷しています。酒匂川の左岸地区で作られているナシは『足柄梨』と呼ばれ、甘みと豊富な果汁が特徴。『朝ドレファスミ』でも人気が高い果実です。

農家の4代目として育った三廻部さんは学校を卒業後、JRの運転手をしながら農業を続けてきました。減反政策が進む30年ほど前に水田からナシ畑へと転作。当初は栽培技術もなく、手探りの日々が続き、「果実に袋掛けをした後、台風で実が全部落ちてしまったこともある」と苦労を話す三廻部さん。

一昨年は中国で火傷病が発生したことを受け、花粉の輸入が禁止に。自身で自家採取をすることも必要となりました。

三廻部さんは「ナシは手間のかかる作物だが、おいしいと言ってくれる人のためにも妻と頑張っていきたい」と話しました。

# 農業を学び生きる力を育む

## 「夏休み子どもめぐりスクール」

JAでは将来へつなぐ組織基盤の強化に向け、『食農教育プラン』を策定しています。このプランに基づき農業体験などを通じて地産地消の大切さや『食』と『農』の関わりを学ぶ食農教育活動を進めています。その中のひとつ『夏休み子どもめぐりスクール』を7月19日に開きました。

多くの『食』を輸入に頼っている日本。世界の食料をめぐる情勢が大きく変化するなか、これからは食料安全保障の確保が必要になってきています。JAでは地域に『地産地消』を推進し、未来の食を守る『食農教育活動』を行っています。7月

19日にはその活動のひとつ『夏休み子どもめぐりスクール』を開きました。地域の小学4年生から6年生の59人が参加。バスで管内を周りながら自然や農業を学ぶ1日を楽しみました。

農産物直売所『朝ドラファーム』では開店前の様子を見学しました。黒柳勇店長が「農家は自分が栽培した野菜を毎日自身で出荷しています。いつでも新鮮な野菜が店頭に並んでいるので、ぜひ買ってたくさん食べてください」と地産地消を呼びかけました。収穫体験では青壮年部の協力でナスやオクラ、トウモロコシを収穫。児童は「どんな形や色を選べばいいの」と興味津々な様子。昼食は山北町の中川のキャンプ場で牛肉や野菜、焼きそばとBBQに舌鼓。食後には川遊びやスイカ割りなど子どもたちの楽しむ声が響いていました。

大きなナスを収穫



午後は(株)神奈川農協茶業センターを訪問し、今年100周年を迎える『足柄茶』の歴史とお茶の淹れ

方を学びました。参加した児童からは「新しい友達もできて楽しかった」「収穫したナスとオクラを弟に食べさせてあげたい」また、「家族にお茶を入れてあげる」など夏休みの思い出を話していました。  
JAでは今後も組合員の皆さまと協力して食の大切や自然への知識を高めるイベントを企画しながら、地域農業の活性化につなげていきます。



おいしい地場産を堪能



お茶は廻し注ぎで

## 理事会だより

### 「主な議題」

令和7年7月28日

#### ◆ ディスクロージャー誌の発行について

令和6年度の経営状況や事業内容などを記載したディスクロージャー誌を発行するにあたり、その内容を協議した結果、承認されました。この冊子は支店に備え置きするほか、ホームページからでも閲覧できます。

#### ◆ 農林施策・予算要望に関する地元行政への要望について

各行政の首長に対して提出する令和8年度農林施策・予算要望の日程と内容について協議した結果、承認されました。内容は、2市8町への共通要望と行政ごとの要望に分かれており、各支店運営委員会で協議した意見を集約したものです。

#### ◆ 令和7年度出荷契約米の目安価格について

当JAの出荷米目安価格である概算金から差額分を補填することについて、出荷契約数量の積み増しから、さらに補填額を上乗せすることを報告しました。これにより生産者へ再度ご案内と数量の積み上げをお願いしました。なお概算金の最終決定は来月理事会にて報告します。

## 温州ミカンのカメムシ防除を！

令和6年度は早生ミカンを中心に普通ミカンまでカメムシによる落果の被害が多く発生しました。今年も、9月以降にカメムシの発生が多くなる予想です。果樹を加害するカメムシは、チャバネアオカメムシが一般的でしたが、ツヤアオカメムシの被害が多くなっています。ツヤアオカメムシの特性を知り、防除の徹底をお願いします。

ツヤアオカメムシは以前、関東以西が主な生息地で、管内では大量発生するのは、数年に一度の状況でした。しかしここ数年、越冬個体が増え、毎年のように大量発生が見られます。チャバネアオカメムシは、スギやヒノキの落葉の下で越冬するのに対して、ツヤアオカメムシは、ミカン、シイ、カシなど常緑樹の樹冠内で越冬します。7月～8月にはスギやヒノキに移動し、カンキツ園では全く発生が見られなくなり、9月以降に一斉に戻ってくるのが特徴です。

神奈川県農業技術センター等の予察結果を参考に9月以降、極早生、早生品種を栽培している方は、必ず防除をしてください。農薬の詳細は各地区の営農経済センターだよりを参考にしてください。



チャバネアオカメムシ



ツヤアオカメムシ

営農経済センターだよりは  
こちらから▶



写真提供：  
神奈川県農業技術センター  
病害虫防除部

## マダニに注意しましょう

神奈川県は7月に松田町在住の60代女性が、マダニが媒介するウイルス感染症「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」に発症したことを発表しました。

そこで今月号では、身を守る服装や忌避剤を紹介します。なお、この対策はヤマビルにも有効です。

### ①マダニの生息場所と活動時期

マダニは、シカ、イノシシなど野生動物が出没する環境に多く生息していますが、裏山を背負った民家の庭、畑、あぜ道などにも生息しています。また、活発に活動する時期は3月～11月となっています。

### ②マダニから身を守る服装（農作業、草刈など）

- ・半ズボン、サンダル履きで生息が想定される場所に行かない。
- ・首にはタオルを巻くかハイネックのシャツを着用しましょう。
- ・シャツの袖口は手袋の中に入れ、裾はズボンの中に入れましょう。
- ・ズボンの裾は長靴の中に入れるか、長靴でない場合は靴下に被せましょう。

### ③マダニから身を守る

- ・マダニはズボンなどに付いている場合が多いため、作業着などは家の中に持ち込まないようにしましょう。万が一作業着等にマダニが付いていた時はガムテープを利用して取り除く方法が効果的です。
- ・マダニに咬まれても気が付かないことがありますので、シャワーや入浴でマダニが付いていないかチェックしましょう。
- ・マダニに対する忌避剤（虫よけ剤）には、ディート（商品名ヤマビルファイターなど）やイカリジンが市販されています。忌避剤により付着数は減少しますが完全に防げません。過信せずさまざまな対策と組み合わせてください。また、ディートは小児の使用には制限がありますので、ラベルの注意書きを必ず読んでください。

### ④マダニに咬まれた時の対応

- ・マダニの吸血中に無理やり取り除くとマダニの口器が皮膚の中に残るので皮膚科等医療機関で適切な処置を受けてください。
- ・咬まれた後、数週間は体調変化に注意して、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診療を受けてください。



マダニ



イカリジンやディート入りの虫よけ剤

## 神奈川県 病害虫情報・予報

神奈川県病害虫防除部が発表した病害虫情報・予報のリンクを掲載します。安全で安心な農産物が安定的に生産できるよう、県全域の病害虫の発生状況調査と病害虫情報の提供を行っています。ぜひご利用ください。

二次元コード▶

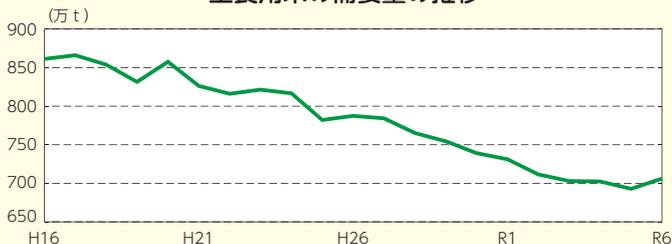


URL: [https://www.pref.kanagawa.jp/docs/cf7/cnt/f450002/2025\\_4\\_01.html](https://www.pref.kanagawa.jp/docs/cf7/cnt/f450002/2025_4_01.html)

# お米が担う役割を考える

お米は日本人の主食であり、身近な存在です。最近は価格高騰ばかり注目されていますが、あらためてお米について考えてみませんか。稲作の現状や水田の話、流通のことやJAの役割など2か月にわたり特集します。

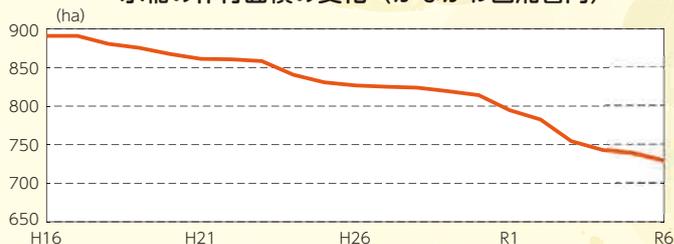
主食用米の需要量の推移



ここ20年の推移では、食文化の多様化により年間10万tほど減少しています。

出典：農林水産省『米をめぐる状況について【①我が国における米の状況】』（令和7年5月）を基に作成

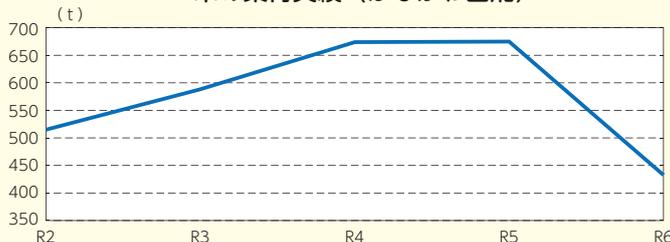
水稲の作付面積の変化（かながわ西湘管内）



労働力不足や資材費・燃料費の高騰などにより、耕作をやめる水田が増えています。20年間で162haもの作付面積が減少しました。

出典：『作物統計調査（水稲）』（農林水産省）を基に作成

米の集荷実績（かながわ西湘）



昨年は出穂期に気温の高い日が続いたため、不稔が発生し、集荷量が減少しました。



## JAの農業経営事業による水稲栽培



南足柄市内の20か所ある水田合計約3haを農業支援隊の協力で行っています。令和6年産は『はるみ』約12tを収穫。381袋を出荷しました。また、今年度は高温耐性資材の試験も行っています。

## ドローンによる防除と施肥



今年度より、農作業受委託事業として小型無人機ドローンでの防除や施肥の作業を始めました。ドローンの操縦は(株)コヤワタオフィスが行います。

この他にも『地域農業応援プログラム』で、水稲苗を食害するスクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の駆除剤の購入費用の助成、籾を吸汁するカメムシの駆除農薬の助成を行っています。

また、水稲育苗センター・ライスセンターの機械更新や修理、農業機械購入に対する助成なども行っています。

詳しくは各支店または各営農経済センターまで。

## 水田の役割

水田はお米を作るだけでなく、環境の保全などさまざまな機能（多面的機能）を持ち、私たちの暮らしを支えています。稲作を行うことは、これら水田の役割を守ることにつながります。

### その1 災害を防ぐ

#### 土砂崩れや土の流出を防ぐ

- ・日々の農作業で田のひび割れなどの損傷を発見し、補修することで土砂崩れを未然に防ぎます。
- ・雨水を貯めることにより地下水の急激な上昇による地滑りを防ぎます。



#### 洪水を防ぐ

- ・大雨の時、雨水を一時的に貯め、ゆっくりと時間をかけて川に流すことで川の増水を防ぎます。



### その2 豊かな水を育む

- ・水田に貯められた雨水などの一部は排水路から川に戻り、一部は土にしみこみ、地下から川に戻ります。深くしみ込んだ水は地下水にもなります。時をかけてゆっくりと循環することで川の水量を安定させ、豊かな水を育みます。
- ・水田にいる微生物は、有機物を分解して窒素を作り、稲の栄養分として吸収されるため、水をきれいにします。また、土がフィルターとなり、水をろ過します。

### その3 多様な生き物を育む

- ・生き物のすみかとなり、命を育みます。
- ・堆肥などの有機物を分解する微生物を昆虫が食べ、それをカエルが食べ、さらに水鳥が食べるといったような食物連鎖を生み出します。



### その4 暑さを和らげる

- ・水面や稲から水分が蒸発することにより、空気が冷却され、暑さを和らげます。



### その5 美しい風景を作る

- ・四季折々の美しい風景を作り出し、見る人の心を豊かにしてくれます。誰もがほっとする日本的な原風景『ふるさと』があります。

### その6 伝統文化を伝える

- ・地域に伝わる祭りは、豊作を祈るものや収穫を祝うものなどがあります。また、稲作から生まれた日本のしきたりや文化も数多くあります。



稲わらで作った宝船

J Aは水田の役割を学んでもらうため『田んぼの生き物調査』を開いています。

## J Aでは、稲作を守るためにさまざまな取り組みを行っています

### 育苗と苗の配送



管内4か所に育苗組合があり、品種は『はるみ』を中心に『キヌヒカリ』『てんこもり』『喜寿もち』酒米の『若水』の苗を生産しています。今年度は36,785枚を組合員に届けました。

### 機械銀行による農作業受託



3つの推進班が、主に小田原市内の水田を中心に育苗から収穫、乾燥、粃すりまで一連の作業を行っています。（ライスセンターは乾燥、粃すり作業を行っています）

### 農業支援隊による農作業受託



現在、43人の隊員が所属し、准組合員や組合員外の方もいます。隊員でチームを組み、作業を行っています。令和6年度は310件、合計53haの受託作業を請け負いました。

## スイカの産地で技術を学ぶ

〓岡本地区野菜直売部会が視察〓

岡本地区野菜直売部会は生産・販売技術の向上を目的に毎年、視察研修会を開催しています。今回、部会員より「スイカの栽培技術を学びたい」との声があり、7月7日に三浦市農協のスイカ農場を視察しました。三浦地域では、明治16年頃よりスイカの栽培が始まり、昭和38年に県の指定産地となっています。

当日は、同農協職員が栽培方法について説明「スイカが日焼けしないように苦土石灰をまいている」と話すと、部会員からは驚きの声が上がりました。参加者は、「産地から学ぶことは多く、勉強になった」と話しました。



三浦市農協職員〓より説明を聞く部会員たち

## 児童に地産地消の理解を

〓女性部開成支部がタマネギ贈る〓

地元野菜を食べて農業を知ってほしい——。女性部開成支部は、支部で栽培したタマネギ100kgを開成町の小中学校と幼稚園4か所に贈りました。

7月10日には遠藤いすず支部長と宇田のり子副支部長が開成小学校を訪問。コンテナ1箱を手渡ししました。大越泰子校長は「地元の野菜を子どもたちにおいしく食べてもらうとともに、農業の大切さを学んでほしい」と話しました。

タマネギは、ラザニアとスープにして給食で味わいました。



タマネギを手渡す遠藤支部長〓、宇田副支部長〓、大越校長〓

## ジャンボタニシ捕獲作戦!

〓生徒と農家が県に協力〓

県西地域県政総合センターは小田原支援学校大井分教室の生徒と連携し、小田原市永塚地区の水田でスクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の駆除作業を行っています。7月8日には、生徒12人と地元農家が協力し、1週間前に設置したわなを回収。547個の貝を捕獲しました。生徒は「貝の数を減らせば、稲も育つ。地域の助けになり、やりがいを感じる」と話しています。同校では今後も独自に捕獲を続け、地域農業を助けていく考えです。

水稻農家は「地域全体で取り組んでいるが、被害を止めることは難しい。生徒さんたちにも協力してもらえてありがたい」と力強く話しました。



わなを回収する生徒たち

## 親睦と交流を深めよう

～女性部企画旅行を楽しむ～

J A 女性部は7月10日、部員同士の親睦と交流を深めることを目的に『女性部企画旅行』を開きました。今年は72人が参加。迎賓館赤坂離宮や東京タワーを見学。昼食では日本料理に舌鼓を打ちました。国賓や公賓などをお迎えする迎賓館は明治時代の建築でヨーロッパ様式と和の意匠で国宝となっています。外觀の美しさはもちろん、内部空間に深紅の絨毯や豪華なシャンデリアは圧巻でした。部員は「美しい建造物に心を奪われました」と話していました。

清水美智代部長は「昼食は全国各地から取り寄せた食材を使った料理をいただきながら、部員同士有意義な時間を過ごすことができました」と支部の輪を越えた交流を喜びました。



迎賓館でハイポーズ！

## 地域一丸で防除！

～矢倉沢地区でヒル対策講習会～

南足柄市の矢倉沢地区ではシカやイノシシによる農作物やヤマビル被害に苦慮しています。ヤマビルは野生動物に吸血していることが多く、地域ではヤマビルによる人への吸血被害が多発。そこで矢倉沢自治会と矢倉沢里地里山会が協力し、7月26日に『矢倉沢ヒル対策講習会』を開き、農家ら約25人が参加しました。かながわ鳥獣被害対策支援センター職員を講師に招き、野生動物の生態や行動特性、防除方法などを学びました。また、ヤマビルは薬剤で防除しますが、お酢やクエン酸でも防除が有効であると説明がありました。参加者からは「お酢での防除は手軽なので、ぜひ試してみたい」と効果に期待しています。



お酢散布による実験の様子

## 栽培技術と知識を高めよう

～全国キウイフルーツ研究会～

全国果樹研究連合会は、高品質な果樹生産を推進するため『全国キウイフルーツ研究会』を7月28日・29日に開きました。九州や四国など全国各地から農家やJ A



熱心に栽培方法を聞く参加者

職員ら40人ほどが参加。29日の視察は管内のキウイフルーツ園で行われ、当J Aの営農部職員がキウイフルーツの歴史や栽培方法、出荷基準などについて説明しました。参加者からは「果実のかさ紙をつけるタイミングは」「カメムシの対策方法は」「気候変動への対応は」など熱心に質問していました。

# インフォメーション

## 『家の光』年間購読受付中

『食』と『農』、『暮らし』、『協同』、『家族』をテーマにした情報が満載の『家の光』を読んでみませんか。2025年12月号より毎号付録がつくようになりました。なお、例年12月号付録の家計簿につきましては、今年より別売りとなりましたのでご承知おきください。

購読期間：令和7年12月号から令和8年11月号  
 年間購読料：9,900円（税込）※年間予約購読は900円（1か月分）お得です  
 申込期間：令和7年8月1日（金）～令和7年9月16日（火）

家の光家計簿（増刊号）  
 別売り660円（税込）  
 申込期日：令和7年9月末まで  
 ※今年から別売りとなります

『家の光』12月号のテーマは「あたらしい防災」です。モシモ、イツモ化生活。

外出先の「もしも」に備えて  
 「いつも」持ち歩く

防災アクションタイムブック

12月号別冊付録

たとえば「マイ防災ボトル」

家の光 12月号 購読申込受付中!

お申し込みはお近くのJAへ

お申込み・お問合せは  
 各支店窓口まで

## 日ごろの感謝を込めて 感謝還元 かんかん キャンペーン

### 条件を満たして「体験イベント」に参加しよう!! 抽選で合計400名様をご招待

①②いちご狩り

令和8年  
13/7±  
23/8日

時間 10:00～

体験先の所在地  
AGRI WAYS(アグリウェイズ)  
〒250-0202 神奈川県小田原市上曽我2624

200名

③果実アイスづくり体験

令和8年  
3/7日

時間 10:00～

体験先の所在地  
大井町生涯学習センター  
〒258-8501 神奈川県足柄上郡大井町金子1995

100名

④果実&野菜グミづくり体験

令和8年  
3/8日

時間 10:00～

体験先の所在地  
大井町生涯学習センター  
〒258-8501 神奈川県足柄上郡大井町金子1995

100名

※体験イベントはすべて現地集合・現地解散となります ※イラストはイメージです

**応募条件**（応募については、お一人様一回までとなります）

- ① ども共済の見積もりを作成し、加入を検討している方
- ② 医療共済またはがん共済の見積もりを作成し、加入を検討している方
- ③ 予定利率変動型年金共済の見積もりを作成し、加入を検討している方
- ④ 介護共済または認知症共済の見積もりを作成し、加入を検討している方
- ⑤ 自動車共済の見積もり（新規契約）を作成し、加入を検討している方
- ⑥ JA共済未契約者を紹介いただいた方

※紹介を受けた方については、①～⑥のいずれかの条件を満たした方に限る

**応募方法** キャンペーンチラシ裏面の応募用紙に必要事項を記入の上、お近くの支店窓口またはJA職員にお渡しください。

**応募締切** 令和7年12月30日（火）まで

**当選発表** 令和8年1月19日（月）以降に、受付支店にて当選番号を掲示します。  
 なお、当選者（代表者様）には、令和8年2月中旬ごろ、当選ハガキを送付します。

[25143330126]

## JAの自動車共済 お見積もりキャンペーン

今なら見積もるだけで抽選で  
 総計1,000名様に素敵な賞品が  
 当たります。

「さらに!」  
 自動車保険証券を  
 スマホで読み取ると  
 当選確率 **5倍!**

**JA 賞**  
 500名様  
 (各期125名様)

JAタウン  
 GIFT CARD  
 (10,000円)

全国各地のJAなどから  
 厳選した食材をお届けします。

応募期間 令和8年3月31日まで  
 応募締切 第2期：令和7年9月30日 / 第3期：令和7年12月31日 / 第4期：令和8年3月31日

**A 賞**  
 300名様  
 (各期75名様)

K2シリーズ最高の洗浄力で  
 初めての静音モデル。

※商品のデザイン・仕様・機種等は変更となる場合がございますので、あらかじめご了承ください ※画像はイメージです

**B 賞**  
 200名様  
 (各期50名様)

ダイソン  
 Dyson Micro Focus Clean  
 (ハンディクリーナー)

ダイソン史上最軽量。  
 手軽に車内や家中を掃除できます。

応募はお近くの支店まで



JAかながわ西湘は2025年国際協同組合年  
 (IYC2025) に賛同しています



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます



本店 〒250-0874 神奈川県小田原市鴨宮627番地  
 TEL:0465(47)8125

- かながわ西湘9月号 (vol.228) 令和7年8月20日 (毎月20日発行)
- 発行/かながわ西湘農業協同組合 ●発行責任者/石塚祐一
- 編集/組織企画部組織広報課

JAかながわ西湘ホームページ▶ <https://ja-kanasei.or.jp/> かながわ西湘

